





分類番号	丁	3	6	1
保存期限	1・3・⑤・10・永			
議長	事務局長	係長	書記	
				

様式第5号（第5条関係）

平成31年3月25日

矢巾町議会議長

廣



会派名

公明党

代表者名

米倉清志



平成30年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項（第2項）の規定により、次のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 192,000 円

2 支出

項目	金額（円）	主たる支出の内容
調査研究費	116,486	交通費、宿泊費
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
事務費		
合計	116,486	

3 残額

75,514 円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

様式第7号（第6条関係）

政務活動費支出明細書（会派名＝ 公明党 ）

（ 調査研究費・ 1枚のうち 1枚）

No.	支出年月日	件 名	内 容	金額（円）	備 考
1	平成30年 7月9日 ～11日	調査研究費	<p>〔目的・視察先〕</p> <p>①農業振興に向けた6次産業化推進の取り組みについて （北海道美幌町）</p> <p>②地場農産物の付加価値向上に向けた株式会社グリーンズ北見の取り組みについて （北海道北見市）</p> <p>③北海道さっぽろ「食と観光」情報館の視察（北海道札幌市）</p>	116,486	
	(以下余白)				
計				116,486	



分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			
議長	事務局長	係長	書記	

様式第8号(第6条関係)

矢巾町議会議長 廣田 光男

平成30年8月24日

会派名 公明党

代表者名

米倉 清志

報告者氏名

米倉 清志



調査研究等実施報告書

実施年月日	平成30年7月9日(月)～平成30年7月11日(水)
参加者名 (9人)	公明党 : 米倉清志 矢巾明進会 : 長谷川和男 村松信一 やまゆり会 : 藤原由巳 藤原義一 高橋七郎 町民の会 : 高橋安子 廣田清実 水本淳一
目的	① 農業振興に向けた6次産業の取り組みについて(美幌町) (7月9日(月)午後2時～4時) 農業振興や地域活性化を図るため、アスパラガス等の農産物の6次産業化を推進している。また、町特産品を「びほろブランド」として認証し、全国への普及拡大に努めている。 ② 地場農産物の付加価値向上に向けた株式会社グリーンズ北見での取り組みについて (北見市:7月11日(火)午前10時から12時) タマネギ生産量日本一を誇る北見市。株式会社グリーンズでは、行政やJAが連携し通年での安定供給を実現させた地域ブランドの確立に成功している。 ③ 北海道さっぽろ「食と観光」情報館の視察見学(札幌市) (7月12日(水)午前10時から11時) 北海道と札幌市が連携し、札幌駅構内に誕生した施設であり、道産品のアンテナショップ等、食の魅力や観光案内の情報発信拠点の機能を担っている。
行先	① 網走郡美幌町(美幌町議会・経済部) ② 北見市(北見市役所農林水産部農政課・株式会社グリーンズ北見) ③ 札幌市(北海道さっぽろ観光案内所)
対応者 又は 主催者	公明党 米倉 清志

概 要 及 び 所 見	別紙 1 ～ 3 のとおり
経 費	1 1 6 , 4 8 6 円 （内訳は別紙のとおり）

(A 4)

別紙

調査研究等経費内訳

(会派名＝ 公明党)

調査研究費 ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
	交通機関名	経 路	計 算	計	備考
交通費	鉄道 (J R)	矢幅駅～花巻空港駅 (往復)	112,420 円 × 1 名	112,420 円	整理番号 1-1 内
	鉄道 (J R)	美幌駅～北見駅			
	鉄道 (J R)	新千歳～札幌駅 (往復)			
	A I R	花巻空港～新千歳空港 (往復)			
		新千歳空港～女満別空港 (往復)			
		(宿泊料込)			
	岩手県交通	花巻空港駅～花巻空港	290 円 × 1 名	290 円	整理番号 1-2
	タクシー	女満別空港～美幌町役場	1 名	903 円	整理番号 1-3
	タクシー	ホテル～グリーンズ北見	1 名	690 円	整理番号 1-4
	タクシー	グリーンズ北見～ 北見バスターミナル	1 名	716 円	整理番号 1-5
北海道 北見バス	北見バスターミナル～ 女満別空港	1,000 円 × 1 名	1,000 円	整理番号 1-6	
タクシー	花巻空港～花巻空港駅	1 名	467 円	整理番号 1-7	
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	7月9日	ドリーミン北見 ホテル	1 人	円	整理番号 1-1 内
	7月10日	マイステージ札幌 ホテル			
資料代		円 × 人 =		円	
		円 × 人 =		円	

合 計	116,486 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	交通費・宿泊費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄



領 収 証

公明党 殿

No. 037077

平成 30 年 6 月 29 日

¥ 112,420-

(現金・振込・小切手)

内 容	種 目	旅行年月日	行先(又は品名)	内 訳
	旅行代金	H30 7/9~7/11	北海道	矢中町議会会派合同視察調査

上記金額正に領収致しました。



〒020-0124 岩手県盛岡市扇川一丁目17-18

株式会社 岩手県北観光

代表取締役社長 三 上 金 昭

撮者印



7月 9日、11日	J R	矢幅駅～花巻空港駅(往復)	640円×1名=640円
7月 9日	J R	美幌駅～北見駅	540円×1名=540円
7月10日、11日	J R	新千歳～札幌(往復)	2,140円×1名=2,140円
7月 9日、11日	航空機	花巻空港～新千歳空港(往復)	53,200円×1名=53,200円
7月 9日	航空機	新千歳空港～女満別空港	16,200円×1名=16,200円
7月 9日	航空機	女満別空港～新千歳空港	13,800円×1名=13,800円
7月 9日	宿泊費	ドーマーイン北見 シングル	12,300円×1名=12,300円
7月10日	宿泊費	マイステージ札幌 シングル	13,600円×1名=13,600円

確認項目

計 112,420円

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 平成 30 年 6 月 29 日

他会派との按分 (なし・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	112,420円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

様式第9号（第6条関係）

支出証明書（整理番号1－2）

金 額	290円
項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 事務費
内 容	バス運賃 花巻空港駅～花巻空港（往路） 290円×1名＝290円（路線バスのため、領収書無し） （米倉清志1名分）
支払年月日	平成30年 7月 9日
支払先	岩手県交通

上記の金額を、政務活動費により支出したことを証明する。

平成30年 7月 9日

会派名 公明党

代表者名 米倉 清志



(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-3

領収書その他の書類の添付欄

平成 30 年 7 月 9 日
女満別空港～美幌町役場
(株)ジャパンリムジンサービス(タクシー)
公明党
米倉清志
矢巾明進会
長谷川和男・村松信一

矢巾明進会・公明党様

領 収 証

No. 7543

日付 2018年 07月 09日

車番 0829 0000

基本運賃 ¥2,710円

合計 ¥2,710円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます。
又のご利用お待ちしております。

株ジャパンリムジンサービス
大空町女満別本通3丁目1 25

TEL 0152-74-3111

0

確認項目

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日		平成 30 年 7 月 9 日	
他会派との按分 (なし・あり)			
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)			
会派名	公明党	903 円	
会派名	矢巾明進会	1,807 円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
合計		2,710 円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-4

領収書その他の書類の添付欄

平成 30 年 7 月 10 日
ホテル〜グリーンズ北見
金星ハイヤー(株)(タクシー)
公明党
米倉清志
矢巾明進会
長谷川和男・村松信一

矢巾明進会・公明党様

領 収 証

No. 8661

日付 2018年 07月 10日

車番 0233 0000

基本運賃 ¥2,070円

合計 ¥2,070円

上記の様に領収致しました
(消費税を含みます。)



北見市柏原町 577-56

ご乗車ありがとうございました。
又のご利用をお待ち申し上げます。

金星ハイヤー

☎ 23 - 2339

確認項目

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記 2 項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 30 年 7 月 10 日
他会派との按分 (なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 公明党	690 円
会派名 矢巾明進会	1,380 円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	2,070 円 領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-5

領収書その他の書類の添付欄

平成 30 年 7 月 10 日
グリーンズ北見～北見バスターミナル
金星ハイヤー(株)(タクシー)
公明党
米倉清志
矢巾明進会
長谷川和男・村松信一

矢巾明進会・公明党様

領 収 書
No. 4621

日付 2018年 07月 10日

車番 0238 0000

基本運賃 ¥2,150円

合計 ¥2,150円

上記の様に領収致しました
(消費税を含みます。)



北見市白湯町 577-56

ご乗車ありがとうございました。
又のご利用をお待ち申し上げます。

金星ハイヤー

☎ 23 - 2339

確認項目

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記 2 項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日		平成 30 年 7 月 10 日	
他会派との按分 (なし・あり)			
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)			
会派名	公明党	716 円	
会派名	矢巾明進会	1,434 円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
合計		2,150 円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-6

領収書その他の書類の添付欄

平成 30 年 7 月 10 日
北見バスターミナル～女満別空港
北海道北見バス(株)(バス)

公明党
米倉清志

領 収 書

2018年 7月10日(火) 12:10 001号機

¥1,000-

上記金額を領収いたしました

北海道北見バス株式会社
北見市大通西2丁目15番地
TEL 0157-23-2185

確認項目

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 30 年 7 月 10 日
他会派との按分 (なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 公明党	1,000円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	円 領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-7

領収書その他の書類の添付欄

平成 30 年 7 月 11 日
花巻空港～花巻空港駅
(株)三光タクシー(タクシー)
公明党

米倉清志
矢巾明進会
長谷川和男・村松信一

矢巾明進会・公明党様

領 収 書

No.0899

日付 2018年07月11日

車番 000305 0000

基本運賃 ¥1,400円

合計 ¥1,400円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます
忘れ物お気付きの点は

株式会社 三光タクシー
花巻市二枚橋町大通り2-18-2
電話 0198-30-2345
フリーダイヤル
0120-30-3535

確認項目

- ☐ あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- ☐ 但し書きが具体的な記載となっているか。
- ☐ レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- ☐ 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 30 年 7 月 11 日
他会派との按分 (なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 公明党	467 円
会派名 矢巾明進会	933 円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	1,400 円
領収書の金額と一致	

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

別紙 1

北海道美幌町視察報告

公明党 米倉 清志

視察日時 平成 30 年 7 月 9 日 (月) 14:00~16:00

場所 北海道網走郡美幌町の概要

美幌町産業は農業が主体で農家戸数が約 380 戸、農地面積は約 1 万 ha、畑が 98.3% を占め、田はわずか 1.7% である。自衛隊の基地が設営されている。

一戸当たりの耕作面積は約 25ha、麦類、馬鈴薯、甜菜の 3 品目の主要作物である。

タマネギ、豆類を生産しているが、アスパラの産地としての取り組みをしている。

美幌町の農協の取扱高は約 100 億円で、町の一般会計予算とほぼ同じとなっている。製糖・でん粉・食品加工などの製造業、運送業、農業関連産業も多く農業土木を行う建設業と併せて経済の中心を担っている。地域食品開発事業やブランド認証においても加工食品が主力を占めている。又、6 次産業化にも積極的に取り組んで JA と道の駅との連携により、小麦を使ったラーメンを開発し、飲食店等が新メニューを考案するなど周囲の協力により売り上げを拡大している。

森林の整備にも力を入れ、世界基準の F S C 森林認証を取得し新たな取り組みを進めている。

対応者 美幌町議会副議長	吉住 博幸
美幌町商工会議所専務理事	横山 清美
美幌町経済部長	矢萩 浩
農政主幹	佐々木 斉
未来農業センター主幹	牛来 博
観光主幹	那須 清二
美幌町議会事務局長	藤原 豪二

視察内容 農業振興に向けた 6 次産業化推進の取り組みについて

1、美幌町 6 次産業化の実用例

6 次産業化地産地消法に基づく事業認定は 5 事業である。

- (1) (株) ファームハウス美幌 長芋を海外輸出による販路拡大にかかる事業
- (2) (株) 清流農園 馬鈴薯の規格外品を活用した「カップグラタン」の開発、販売事業
- (3) (株) 大雪を囲む会 規格外人参を活用した加工品の開発・製造・販売事業
- (4) J A 美幌町 農産物の付加価値や地産地消などに取り組み。小麦のブランド化を進め、生ラーメン・乾燥ラーメンを開発し、道の駅、空港、札幌市内などで。生めん 25,000 食、乾燥めん 8,000 食を販売している。
- (5) (有) 三雄産業 自社で生産している小麦（はるゆたか）を活用し開発した、乾燥うどんは製麺会社と連携し商店やネットショップで販売している。

2. 美幌町のアスパラガス栽培について

(1) 美幌町はホワイトアスパラガスの産地であった、ピーク時の作付面積は約 300ha、124 戸で生産していたが、価格低迷等により、昭和 50 年代後半グリーンアスパラに切り替えられた。グリーンアスパラは地域を選ばず栽培が可能のため、町内全域での取組みとなった。現在 34 戸で栽培している。

(2) 美幌町としてアスパラガスを新たな特産品とするため、試験栽培を行い、普及センターや JA と連携し技術指導、普及推進を図るなど、町による振興を行っている。

① 収穫期間は一般露地で約 1 ヶ月半であるが、ハウス立茎栽培は約 5 ヶ月間あり、ハウス立茎栽培の普及によりハウス面積は 6,500 坪 (21 戸) まで拡大し、道東では最大の産地となっている。

② 冬期間・伏せ込み栽培し (露地で栽培したアスパラの根株を掘上げ、ハウス内に移植し埋め込んで萌芽させる栽培法) の普及で、現在、生産者 7 戸。29 年度の生産量 3,480 k g、販売額 10,100 千円となっている。

平成 22 年 北海道大学と研究協定締結 (3 年間)

日本で初めて 11 月初旬の出荷を目指したアスパラガスの伏せ込み栽培を開始。

平成 24 年 試験栽培を開始。試験研究と農家の普及推進を同時に進行

平成 26 年 センター指導の下、地元にある美幌高等学校との試験栽培を開始し学生たちの試験研究のテーマとしても扱っている。

美幌産冬期アスパラを冬姫と命名し、登録商標を取得している。

③ 美幌産冬期生産品、冬姫アスパラは希少価値が評価され 3~4 倍の価格で取引。

(3) 美幌町にアスパラガスが定着したことの特異性について

① 北海道内で 3 作型に取り組む産地で、3 作型の導入により年間 10 ヶ月に渡ってアスパラを出荷できる産地である。○ハウス栽培 5 ヶ月 (4~5、7~9 月) ○露地栽培 2 ヶ月 (5~6 月) ○伏せ込み栽培 3 ヶ月 (11~1 月)

② 美幌町の一戸当たり耕作面積が 28ha で大規模畑作地帯では、手間がかかる施設作物は元々定着しないことなどから、「ハウス栽培」「伏せ込み栽培」のアスパラガス普及は異例であった。

*アスパラの導入で春先や冬季の収益が増加した。

*直売できる品目として魅力があり栽培意欲が旺盛になった。

*アスパラは町内全域で栽培できた。

3. 特産品開発支援事業補助金

平成 29 年度から町が行う事業で特産品開発支援事業は、商工会議所において開始した美幌ブランド認証制度と連携、質の高い農畜産物をはじめ、地域資源を活用した特産品開発を支援し、官民共同で開発を支援するものである。

平成 30 年度の新補助率は 4 分の 3 以内で、この特産品開発に費用を補助することにより美幌ブランド認証制度に繋げようとするものである。

4. 美幌町ブランド認証制度

地域の農畜産物の付加価値を目的とした特産品開発であるが、その認知度は低く、地域経済に貢献しているとは言い難い状況である。

そのため販路拡大に向けた PR やパッケージデザインなどの情報発信に向け、地域内で連携を図り、地域のブランドとして認証するための統一商標を作成した。

平成 28 年に美幌産の商品をブランド化し、差別化を図ることを目標とし、びほろブランド認証制度を創設した。

認証委員は 12 名で構成し、1 回目は 7 社から 19 品目の出展があり、全て認証された。

昨年日本政策金融公庫主催の「アグリフード EXPO 大阪 2018」に 17 品目を出展している。さらにお中元やお歳暮用にびほろブランド認証品のギフトセットを作り、びほろ駅や美幌観光物産協会が実施している「ぽっぽやさん」での販売や「峠の湯 びほろ」で販売し好評を得ている。ホームページでも PR をしている。

所見

美幌町は、一戸当たりの農地面積が 25ha である、矢巾町の耕作面積とは比較にならないが、長年の経験や技術により、地産の長芋、馬鈴薯、人参、小麦による 6 次産業化が進んでいる、新しい取組みとして春期、冬期間のアスパラガスの栽培方法の確立等北海道大学と共同研究で取組み、農家や普及センター、JA とともに連携し試験研究と普及推進を行っている。

本町は、これまでは稲作が中心で畑作関係の研究があまり進んでいないが、優良農地として田 2,400 ㍓・畑 390 ㍓があり、豊富な水と気候にも恵まれているが、本来稲作栽培の圃場は湿害等により、転作に適した作物は限られている。

今後においても稲作の拡大には限界があり、優良農地の有効活用を考えた場合、各種作物の栽培に適した圃場への転換が必要である。岩手大学や JA、普及センターと技術の連携により、土壌にあった農産物の生産により収益の上がる商品の研究開発で、これらの栽培に最適なシステムを導入し、特産品開発支援事業やブランド認証制度を参考にし、6 次産業にも力を入れることが必要である。。

更に昨年より国が推奨の 9 品目の大規模野菜栽培や地産地消作物の栽培を検討すべきである。

圃場を埋め立て、整備するなど野菜栽培に適した耕作地の整備が必要と思われる。

別紙 2

地場農産物の付加価値向上に向けた(株)グリーンズ北見の 視察報告書

報告者 公明党 米倉 清志

1、概要

平成 18 年北見市を中核として、端野町、常呂町、留辺蘂町) が合併し、人口 12 万人、道内最大の面積 (1427,41 k m²) を誇る「北見市」誕生した。

北見盆地は北海道東部に位置し、日照率も高く全国有数であり、降雨量も少なく、農業に適した気候を生かしたタマネギは、作付面積 3,720 ㍎収穫量は 239,800 t と生産量は日本一である。

昭和 62 年、北見市の活性化と地場農産物の付加価値向上のため、北見市、北見振興公社、北見市農協他による第 3 セクターがスタートした。

規格外品のタマネギが多かったことから、加工し付加価値をつけて販売に結びつけた。

平成 4 年、北見農協やホクレンが参入し、資本参加により大きく成長、現在の資本金、約 3、9 億円、従業員 141 名で年間を通じて、オニオンソテー、ペーストなどの農産冷凍食品、各種スープなどの製造販売に力をいれている。

平成 28 年度は 26 億円の販売し、現在も伸び続けている。

現在はタマネギの他、大根、人参、ねぎなどの規格外品も加工し、冬期間、雪で仕事が少ない地域での収入源は大きな成果あげている。

2、所見

大量のタマネギを収穫後は各農協倉庫に保管し、毎日加工する量が運びこまれる、機械作業であるが、一部タマネギの皮むきやトリミングについては人手を要する、大量処理であり機械による処理が重要であると認識した。

規格外品を加工し販売することで、雇用にも大きな成果を挙げている。

本町では、休耕田を活用し麦・大豆・キャベツ等の栽培や野菜やリンゴなどを生産し選別して農協に出荷している。しかし、販売方法が確立されていない規格外品等は生産者自身が処分しているが、加工工場を整備し加工食品等で付加価値をつけ、高く売る対策を検討してはどうか。特に天候に左右される野菜は、規格外等で処分されることが多く、有効活用策が課題である。

別紙 3

北海道さっぽろ「食と観光情報館」視察報告書

報告者 公明党 米倉 清志

1、実施年月日 平成 30 年 7 月 11 日

2、目的

- ① 北海道は農業生産物、乳製品、農業生産物加工食品、水産物加工品、食肉加工品、お菓子の販売拠点として「食と観光」情報館の仕事内容、現状について視察。
- ② 北海道の大自然、観光立国の魅力を発信するとともに、観光客の北海道の窓口となり、観光客の案内、利便性を担う場所としての「食と観光」情報館の現状と役割について。

3、概要及び所見

北海道産農産物、農産物加工食品、乳製品、食肉加工品、水産物加工品、菓子製品など北海道各市町村、各企業の製品、約 20,000 点以上を扱い、観光客をはじめ札幌市民等が駅を利用する人々に対し、日常生活の食品を提供し大変賑わっていた。また、各地の特産製品の PR の場所としても大変有効な場所であり、観光客や地元産業界にも貢献していると感じた。

観光立国北海道の魅力の発信を担うとともに、観光客の北海道の窓口となり、観光客現在の案内所利用者は 1 日 200 人位で、月平均では 1 万人を超えている。

最近外国人観光客の増加により、10 年前の 3 倍以上の利用であり、観光客の増加には、各国語の言語で案内することが大変であり、全世界各国の言語で対応しなければならないことでスタッフの増員がないことで過酷であると説明を受けた。

矢巾町においても、道の駅を構想する際には、矢巾町特産品、全国の製品や岩手全体の特産品、近隣市町村各地の製品のアピールする場所として、魅力溢れる道の駅構想を計画すべきである。